

小笠原固有マイマイ 飼育は続くよ、どこまでも

小笠原にしかない固有のマイマイは100種以上！小笠原が世界自然遺産に登録された理由の一つです。



しかし外来種などの影響で絶滅しそうなマイマイもいて、そんなマイマイたちを飼育施設まで持ち帰って繁殖させています。

父島、母島だけでなく、最近では動物園・水族園にも飼育の輪が広がり、一般展示も始まっています。

← 飼育や展示の様子
(左上：父島・遺産センターでの飼育の様子、左下：母島での飼育の様子、
右上：葛西臨海水族園での展示の様子、右下：井の頭自然文化園での展示の様子)



初めて飼育するマイマイは、その方法も試行錯誤しながらです。

どんなエサがいいか、どんな環境がいいか、世話をするときによく観察しながら工夫をしています。



いつかマイマイたちが里帰りできるよう、たくさんの人が関わりながら、世話を続けています。

飼育作業中…



←フンが溜まっているので、
個体を移動させて
新しいエサに取り替えます



→
別のケースに移動させるときに
傷つけないように筆を使うこともあります

リニューアルしました！

小笠原自然情報センターだよりは2022年10月から「小笠原世界自然遺産だより」にリニューアルしました。これからもみなさまに小笠原諸島の世界自然遺産の魅力とそれを守るための取組についてお知らせしていきます。

小笠原自然遺産だより第1号では、今年度実施されている小笠原の自然を守るための取組を紹介しました。紙面で紹介できる取組はほんの一部です。小笠原諸島世界自然遺産を守るための取組は他にもたくさん実施されています。



<http://ogasawara-info.jp/>

遺産事業について
もっと知りたい！

おたよりを読んで、小笠原の自然を守るための取組についてもっと知りたい！と思った方は、“小笠原自然情報センターHP”や“基礎資料集”もご覧ください。

小笠原自然センターHPは左のQRコードから、
小笠原諸島世界自然遺産に関する基礎資料集は昨年3月に
皆様のお家にお届けしています
(小笠原自然情報センターHPからのダウンロードも可能です)。

◆◆お問い合わせ先◆◆

本チラシに関するお問い合わせは、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。



環境省小笠原自然保護官事務所（世界遺産センター）

Tel/Fax：04998-2-7174/7175



林野庁小笠原諸島森林生態系保全センター

Tel/Fax：04998-2-3403/2650



東京都小笠原支庁土木課自然環境担当

Tel/Fax：04998-2-2167/2302



小笠原村環境課

Tel/Fax：04998-2-2270/2271



小笠原 世界自然遺産だより 第1号 2022年10月



小笠原の自然を守るために

R4年度実施の遺産事業紹介

今年度注目の取組をご紹介します

シマグワの駆除 @孫島

目標 弟島のオガサワラグワを守る！

弟島の広根山付近でオガサワラグワの稚幼樹が多数確認されており、孫島のシマグワとの交雑が懸念されています。

孫島 四方が崖

孫島にある約500本のシマグワを駆除し、唯一天然更新が期待できる弟島のオガサワラグワの保全を目指しています。

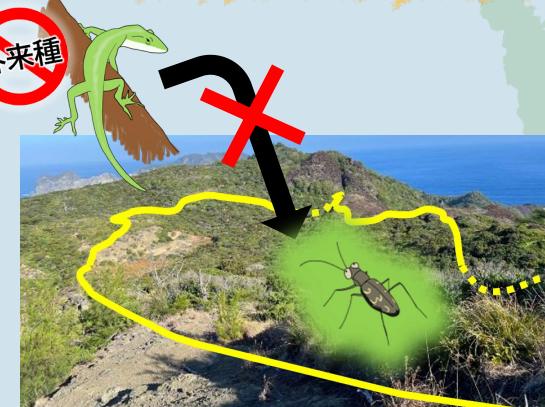
シマグワはタコノキの間から生えており、鋭いタコの葉の痛みに耐えながら駆除しています。シマグワの考えた、生き残るための戦略なのかもしれません。

林野庁

グリーンアノール対策

@兄島・大丸山

目標 大丸山の昆虫たちをアノールから守る！



小笠原の貴重な昆虫たちにとって、特に大切なすみかとなっている大丸山。昆虫を襲うアノールからこの場所を守るため、アノールが入れない柵で周りを取り囲む計画を専門家の指導のもとで進めています。

環境省

アジアベッコウマイマイ対策

@母島

目標 固有のマイマイと村民生活を守る！

外来種

成貝:2~3cm



アジアベッコウマイマイ

小笠原固有の陸産貝類との競合が懸念される為、分布域を拡散させないよう駆除剤散布・手取りを実施

2016年に母島 評議平で確認急速に分布拡大し、現在は元地から中ノ平まで分布

元地集落では雨が續くと大発生！公衆衛生にも影響

2022年7月に二十丁峠で跳躍分散を確認

集落内では誘引トラップによる駆除を実施

誘引トラップ

ペットボトルの中に誘引餌を入れ、ネズミ除けにカゴわなを再利用

駆除剤散布資材等の移動時の注意喚起

小笠原村

環境省

ノヤギ対策

@父島

目標 ノヤギを捕獲して在来植生を回復！

現在、ノヤギ対策は残すところ父島のみで罠や銃器による捕獲作業を実施しています。

引き続き、在来植生回復のため、捕獲の手を緩めずに、ノヤギ“ゼロ”を目指します。



父島

ノヤギ対策が完了した島では、貴重な在来種の復活が確認されています。

← 復活したウラジロコムラサキ (兄島)

東京都

ネズミ対策

目標

オガサワラカワラヒワの営巣・繁殖をネズミの被害から守る！



外来種



オガサワラカワラヒワの繁殖地のひとつである向島。繁殖期の巣や卵がネズミに食べられてしまうのを防ぐため、島全体に約300のベイトステーション（殺鼠剤の入った誤食防止用の箱）を設置してネズミの数を減らす対策を行っています。

環境省

他にも小笠原の自然を守るための取組をたくさん実施中です！